

○林委員長 開会いたします。

本日は全員出席であります。

早速、議事に入ります。1、商工業及び観光に関する事項について、ここで特に御発言ございませんでしょうか。

菅原委員。

○菅原委員 きょうの事項（１）、（２）なのですが、私のほうから関連づけて質疑したいと思っておりますので、一括して質疑させていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

○林委員長 それではそのように扱うことにしまして、（１）コロナ禍の旭川の経済状況について、（２）eスポーツについてを一括して議題といたします。

御発言願います。

菅原委員。

○菅原委員 おはようございます。

きょうの質疑でありますけど、特段こうしなさいだとかあしなさいだとかということではなくて、9月に入っていくとまた第3回定例会が始まるわけでありますけど、決算委員会ということで少し絞られた形の質問になるかなとは思っておりますが、その前に私ども経済文教常任委員会の責任として、今のこのコロナ禍にあつての旭川の現状、あるいはどんなふうな考えなのかということをやっぱり市民に正確に伝えていく、そういったことが大事じゃないか。今申し上げたとおり、それが私どもの仕事ではないかと、そんなことから（１）、（２）を関連づけてお話しをさせていただければと思います。

今さら言うまでもないんですが、このコロナ禍にあつて、オリンピックは延期になる、甲子園も中止になる、本当にこの世の中どうなっちゃうんだろうと。もちろん旭川においても、もう何から何までイベントも中止になって、きのうの夜、ぼーっとしているときに思いましたけど、いや本当にだんだん不安になってきて、実はきのうちょっと外に出たこともあったんですが、北海盆踊りのおはやしも聞こえない、太鼓の音も聞こえない、せめてBGM風にマイクかなんかで流してもらえれば少しは活気づくのかなと、そんなふうに勝手に思っておりました。とにかくこのままこの状態で何もなく、そして特効薬もいつ出てくるかわからないような中で、ただ淡々と毎日過ぎていくというのは、どうも市民が理不尽に思えて仕方ないわけであります。多分、市民の皆様は、市職員や、もちろん市議会議員に対して、ちゃんとお仕事しているんだろうとか、きっと世の中よくしてくれるんだろうとか、ちゃんとやってよというようなことを思っていると思うんであります。

そこで、（１）、（２）に分けたというのは、今の経済状況を把握した中で説明をいただく。その中で（２）については、即効性のある景気回復、あるいは経済回復、そういった部分のところでお話ししたいと、そんなふうに思っておりますのでよろしく願いいたします。

ちょっと前置きが長くなりましたけど、早速でありますけど、現在の旭川市の経済状況についてどのような認識をされているのか、またどんな把握をしているのか。そういったところを少し確認をさせていただければと思います。

○**小山経済部次長** 7月31日に公表されました日本銀行旭川事務所がまとめた道北地域の金融経済概況によりますと、道北地域の景気は悪化した後、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き見られるもとで厳しい状況にあるとのことであり、個人消費は、巣ごもりによる日用品や食料品の需要の高まりや特別給付金を活用した消費による持ち直しの動きが見られるものの、低い水準が続いているほか、観光は厳しい状況にあることから、本市の経済状況につきましても同様に厳しい状態が続いているものと認識しております。

○**菅原委員** またこの日銀旭川事務所の見方もなかなか厳しい。特別給付金を活用した消費というのもなかなか低水準ということで、そうなんだろうなど。厳しい状況だということがわかりました。ちょっと見方を変えて、事業者などの業界からは実際、どのような声が上がっているのか、その辺のところをお聞きしたいと思います。

○**小山経済部次長** 事業者からの聞き取りによりますと、一部の業種で大きな影響を受けていないという声はあるものの、飲食業を初めとするサービス業においては、客足は戻りつつあるが依然として厳しい状況にあることや、小売業においては、物産展のほか北の恵み食ベマルシェといった大規模イベントが相次いで中止となり、需要がなくなってしまったことにより売り上げが大きく減少している企業もあると伺っております。また、機械金属や家具等の製造業につきましては、融資や国の雇用調整助成金を活用しているものの、対面が中心の営業活動にも支障が生じるなど、先行きが見えず厳しい状況に置かれているとのことでございます。

○**菅原委員** なるほど。飲食業、サービス業、小売業、また雇用調整助成金を活用している製造業においてもやはり厳しい、先行き不透明という状況ということがわかりました。

一昨日の道新の記事にも掲載されておりましたけど、世界的な発症に至っている新型コロナウイルスであります、リーマンショックの比ではないという大きな見出しがありました。ということは、大変失礼ながら、今後多分倒産する企業も出てくるのか、そんな不安があるわけであります。

そこで、現状、本市経済状況を踏まえて、経済活性化あるいは景気回復といったところの考え方でありますが、どのようにその対策を進めていこうとしているのか。もちろんいろんな助成金を活用した中で、クーポンなどいろんな対策をしているわけですが、その辺のところをもう少し聞いてまいりたいなと思っております。

○**品田経済部長** イベント等の中止や観光客の減少、それから巣ごもり消費へのシフトなどによる地域経済への影響が非常に大きいと考えておりますことから、今後は、消費拡大に向けた誘導策等の実施による地域経済の活性化を図りますほか、新しい生活様式に対応した製品の開発、ITを活用した経済活動の後押しとなる事業を進めてまいりたいと考えているところでございます。

一方で、全国的には大都市圏を中心に新たな感染の波が起きています中、道内においても若い世代を中心に新規感染者が増加傾向にあるなど、再び新型コロナウイルスの感染が拡大することも考えられますことから、そうした場合は、消費喚起に係る事業の見直しですとか、再び営業自粛等が発出される状況になった際は、緊急的に支援策を講じることについてなども想定しなければならないものと考えているところでございます。

○**菅原委員** ちょっと失礼ながら、少し消極的で抽象的な御答弁であったような気がいたしますが、いたし方がないところかなと、そんな思いもしております。

答弁の中に出てきた新しい生活様式という言葉が、最近たびたび出てくるんでありますが、その

新しい生活様式とはどういうものなのか。例えば、テレワークのようなことを指すのか、あるいはデリバリーのように物を運ぶ、そういったことを指すのか、多種多様、いろんなことがあると思いますが、そのところを研究、把握していくことが次の経済対策につながっていくのかなと、そんな気もしておりますので、しっかり研究、把握していただきたいと、そんなふうに思っているところであります。

そこで、この旭川市の経済活性化を進める上での要素、ソースというのが幾つもあると思うのでありますけど、その中でも一番わかりやすい指標が出せるのがやはり観光の分野でないかと、そんなふうに思っております。ちょっと観光の分野をピックアップして、景気回復といったところの糸口を探ってまいりたいと、そんなふうに思っております。

まず、本市の経済状況をしっかりと把握、認識しておかなければなりません、人の流れはそのまちの経済のよしあしに大きく影響すると思うんですね。そういった意味から、市内の観光宿泊の現状は現在どのようになっているのか、その辺のところをお聞きしたいと思っております。

○北嶋観光スポーツ交流部観光課長 市内観光宿泊の現状につきまして、市で把握している主要ホテルの7月における合計宿泊延べ人数及び平均稼働率を前年同月と比較いたしますと、宿泊延べ人数は、前年より約5万5千人減の約5万1千人と5割以上の減少となっております、宿泊稼働率につきましては、昨年同月の94.5%からことしは52%となっております、ことし5月の稼働率13.5%、6月の稼働率30.4%から7月は52%ということで徐々に回復傾向にあるものの、非常に厳しい状況が続いていると伺っております。

全世界で新型コロナウイルスの新規感染者が増加している状況にございまして、国内の状況もまた拡大傾向が続いておりますことから、観光需要の全面的な回復まではまだ相当の時間を要するものと考えております。

○菅原委員 正確な数字を押さえていただいてありがとうございます。宿泊の延べ人数が前年比5万5千人減と、すごい大きな数字ですよ。稼働率が昨年同月の94.5%から52%になってしまったということですので、それなりの手を打っていかねばならないということでありましょうし、さらに苦しい状況が引き続き、続いていくのかなと。やはり少し、というか相当不安を感じるところであります。

そこで、さらに聞いてまいります、第2回定例会の補正予算として実施している3事業がありました。一つは、旭川観光コンベンション協会への補助金、それから2つ目は、教育旅行等誘致事業費、そして3つ目は、飲食おもてなし事業費についてであります。これらの一つ一つについて、今現在の進捗状況についてお答えいただければと思います。

○北嶋観光スポーツ交流部観光課長 観光分野では、本市独自の宿泊需要喚起策として、市内観光施設利用促進に向けた観光コンベンション協会の取り組みの拡充、教育旅行等の誘致促進や新たな旅行のモデル商品開発に向けた支援、市内宿泊者に対する飲食店利用促進の取り組みの3事業につきまして、第2回定例会の補正予算で御審議の上、成立いただいております。

これらの進捗状況といたしまして、まず、旭川観光コンベンション協会補助金につきましては、宿泊需要喚起と市内周遊観光の促進のため、市内のホテル、旅館に宿泊する方に対して、観光コンベンション協会が発行しております観光チケットでございますよくばりチケット8千人分について、通常価格の約7割引きとなります購入助成を行う事業でございまして、先月7月17日から事業を

開始しております。7月17日から7月末までの約2週間で約700名の方が購入しております、旭山動物園や上野ファーム、あるいは三浦綾子記念文学館を御利用されております。

次に、教育旅行等誘致事業費につきましては、修学旅行等の市内への宿泊誘致促進及び飲食等による消費を促すため、教育旅行等参加者に対し食事、お土産、体験、施設入場料といったものに活用できる2千円分のクーポンを配布するほか、市内の旅行事業者による新しい生活様式に対応した旅行モデルの実施などに対して助成する事業でございます。クーポンの申請につきましては8月1日から開始しております、8月11日現在で、主に道内の小中学校の修学旅行などで申請件数が23件、人数にして1千139人分の申請を受理しております、9月の実施に向け、順次クーポンの配布準備を行っているところでございます。また、市内旅行事業者への助成事業につきましても複数の提案を受けておりまして、観光客に向けて感染対策に配慮した少人数での農業やスポーツなどの体験型旅行の提供が今月より実施されているところでございます。

最後に、飲食おもてなし事業費につきましては、市内のホテル、旅館に宿泊される方に対しまして1人当たり上限2千円のグルメクーポンを配布する事業でございます、現在、グルメクーポンを取り扱っていただく事業者の方を募集し、またこのクーポンを配布いただく宿泊施設向けにマニュアル等の準備作業を進めておりまして、来月、9月14日よりクーポンの配布を開始する予定としております。

以上が、3事業の現時点での進捗状況となっております。

○菅原委員 正確な数字を挙げていただいて、よかったと思っております。

旭川観光コンベンション協会への補助金については、協会が発行する、いわゆるよくばりチケットを7月末の時点でもう既に700名の方が購入されたということでもありますので、今後もさらに期待が持てるのではないかと思いますし、また、教育旅行等参加者に対しての食事、土産、体験、施設入場料等に活用できるクーポンが既に2千人分のうち1千139人の申請を受理していることなどは、やはりよい結果が期待できると、そんなふうに思います。さらには、1人当たり上限を2千円とするグルメクーポンを配布する予定で、事業者の募集の準備を進めたということでもありますけど、今後より効果的なPRをしていくことがやはり大事だと思いますので、その辺のところをしっかりと取り組んでいただきたいなど、そんなふうに思います。よろしく願いいたします。

それで、コロナウイルスの感染症の影響はまだまだ長期化していきたくらうと想定できるわけがあります。私も、早く特効薬のようなものができてこないかなど、それを本当に待ち遠しく思うわけがありますけど、今後の観光戦略についてはどのような見通しを持っているのか。これは難しい課題ではありますが、どのような絵を描いていこうとしているのか、その辺のところを少しお聞きしたいと思っております。

○北嶋観光スポーツ交流部観光課長 観光振興におきます今後の見通しといたしましては、まず、観光目的の海外渡航あるいは入国制限の解除というものが見通せない状況でございます、前年度の観光宿泊客のうち約2割以上は海外インバウンドの観光客の方だったんですが、この海外観光客の回復というものは相当の期間見込めないものと想定しております。当面の間は感染対策の実施を前提としながら、北海道内のほか、移動の自粛要請等がなされていない国内各地域からの観光客の誘致促進を図ってまいりたいと考えております。

補正予算により実施しておりますグルメクーポンの配布につきましては、宿泊稼働率が落ち込む

時期の下支えとなることを期待しておりますし、教育旅行等の誘致の取り組みは、道内などからの修学旅行などの受け入れ先として本市のよさをアピールする機会としていきたいと考えております。また、市内旅行事業者による新しい生活様式に対応した旅行モデルの実施も今後の新たな旅行スタイルの構築につながると考えておまして、引き続き観光関連事業者の方と協議し、感染症対策に配慮した、観光客に安心して滞在していただける地域となるよう着実に取り組みを進めてまいります。

○菅原委員 海外インバウンドの回復というのはまだまだ先のことかなと、そんなふうに思っております。ただ、今の御答弁の中にありました、先ほども申し上げたとおりでありますけど、新しい生活様式とか新たな旅行スタイルの構築というのは、本当に一体どういうものなのかと。そこをしっかりと考えになっていただいた上で、これはやっぱり先を見通すヒント、キーポイントになるのではないかと、そんなふうに実は思っております。そういったことも観光関連事業者などと協議を重ねていただいて、当市やまたこの地域の景気回復、ひいてはにぎわいの創出にぜひつなげていただければと申し上げまして、このところの質問は終わらせていただきます。

ただいま観光を題材に、景気回復、経済活性化といった部分の糸口になるのではないかとということで質問させていただきましたが、次に、今度は即効性のあるのはこういうことかなということで、仮称でありますけどICTパークについて少し質問をさせていただければと思っております。

本年1月5日だったと思うんですが、道新さんの記事にこのICTパーク、eスポーツのことについて大きく掲載されたわけでありまして。以降、途中、我が会派の杉山議員からも質問があったわけでありまして、約8カ月が経過しようとしているわけでありまして。ただその間、eスポーツがどんな進捗状況になったのかちょっとわからなくなっている部分がありまして、皆さんわかっているかどうかあれですけど、僕にはちょっと不透明に思えて、少し明らかにしていきたいなど、そんな思いをしているところであります。

そこで、もう少しお話しさせていただきますけど、市とか道北地域の経済活性化にかかわり、eスポーツを中心とした（仮称）ICTパーク事業というのは、やはり即効性があるって、この地域の起爆剤になるだろうと、本当に私はそう思っているんであります。しかし、残念ながら本当に猛威を振るっているコロナ禍にあって、その影響で事業全体の進捗状況が遅滞なく進められているのか否かというのは、大変懸念される場所ではないかと思っております。ただ、この事業をしっかりと成功に導くということは、北海道内はもとより世界からも注目をされますし、ひいてはIT企業の誘致だとか青少年の教育、あるいは若者がこの地域に根差して仕事につける。あるいは、これも道新さんの記事でありますけど、福祉の世界でこれは有効だということで、2面にでかかど掲載されたんですね。それを2～3回読んでみましたけど、やはりこういった福祉の世界にも非常に有効であるということでもあります。

そこで、淡々と聞いてまいりたいと思っておりますけど、まず本年2月に代表質問の中で、我が党の杉山議員からICTパークについて質問があったところでありまして、その後、きょうまでの経過について説明をしていただきたいと思いますと思っております。

○小山経済部次長 （仮称）ICTパークの開設に向けたこれまでの動きとしまして、まず、施設の整備につきましては、候補施設の持ち主から施設の公共的な活用と施設整備に係る費用負担の申し出があり、連携して事業を進めているNTT東日本からも、旧映画館を活用した事業の展開が見

込めると回答があるなど、民間事業者による施設整備の検討、準備が進められております。

また、関係機関や団体、企業等が一体となって運営に取り組むことが重要であることから、ICTパークでの事業を推進するための組織を設立するため、1月に（仮称）ICTパーク推進協議会設立準備会を立ち上げ、この準備会において、総務省のローカル5Gに関する開発実証事業の提案や、一般社団法人大雪カムイミンタラDMOによりICTパークの運営事業を実施することについて承認を得るなど、開設に向けた検討を進めてきたところでございます。

○菅原委員 大体流れはわかりました。そこで、このICTパークの事業でありますけど、旭川市において、何度も申し上げますが、地域再生計画のやはり目玉になるだろうと、そういう事業であると認識をしております。今後の組み立ても当然、そういった意味では綿密なスケジュールを立てながらの作業になると思うんですが、計画どおり進捗しているんでしょうか。その辺のところを聞いてまいります。

○小山経済部次長 事業の進捗状況についてでございますが、委員が懸念されているかと思っておりますけども、少なからず新型コロナウイルス感染症の影響を受けている状況にございまして、例えば施設の整備について、NTT東日本によりますと、関係している民間事業者には東京圏の会社なども含まれており、新型コロナウイルス感染症の影響による県境を越えた移動の自粛等によって施設整備に向けた打ち合わせなどに支障が生じていることから、予定よりも作業がおくれているとのことであり、また同様の理由から、施設の運営方法等の検討につきましてもeスポーツ施設の運営会社やeスポーツ大会の開催都市との情報交換などに支障が生じているところでございます。

○菅原委員 コロナがやはり邪魔をしているんだなということで、ちょっと残念に思いますが、何とか開設できるように頑張ってくださいと思っています。

ちょっと細かいことをお聞きしたいと思っておりますけど、施設に高速大容量のローカル5Gを導入するために総務省に事業の補助金を申請するとなっているんですね。そういった申請等の作業は遅滞なく行われているんでしょうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○小山経済部次長 総務省のローカル5G等の実現に向けた開発実証事業につきましては、NTT東日本から本事業を活用した機器整備の提案があったことから、設立準備会において内容を確認の上、総務省に対し地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に関する実証提案を提出しております。申請に当たる段階といたしまして、今後、総務省による実証事業に係る調査請負事業入札公告により事業が進められることとなりますが、調査請負事業の詳細につきましては、現時点で示されていない状況でございます。

○菅原委員 さらに少し細かいことを聞きたいのでありますが、例えば、カンダビルのオーナーとの間の賃借とか、あるいはNTT東日本との交渉だとか、そういった基本計画の検討があると思うんですが、その辺のところはどのような形になっているのかお答えください。

○小山経済部次長 ICTパークを運営していくための基本的な考え方につきましては、現在、設立準備会に設置した推進部会などで協議を行っている段階であり、事業の中心となる本市や大雪カムイミンタラDMO、NTT東日本において、ICTパークの外観ですとかeスポーツ会場のデザインを含めたイメージを共有しており、また、核となるeスポーツの大会におきましても、ことし1月に設立されたNTT東日本の関連会社でございますNTTe-Sportsから施設のオープニングイベントや大会開催に向けたゲームタイトルなどの提案を受けるなど、大会開催に向けた具

体的な検討を進めております。

また、候補施設の賃借など、施設活用に関する施設所有者との交渉につきましてもおおむね順調に進んでいるところでございます。

○菅原委員 ただいま少し細かいことをお聞きしました。余計な話ではありますが、先日、優佳良織工芸館の件が破談になったということでもありますけど、えてしてやはりお金の件で破談することが世の常じゃないかと思っております、そういった細かい部分に関しましてもしっかりと検討を進めていただければと、そんなふうな思いから今の質問をさせていただきました。

それから、ちょっとこの協議会のメンバーを拾ってみたんですが、旭川市、大雪カムイミンタラDMO、神田館、NTT東日本、道北eスポーツ協会、旭川商工会議所、旭川観光コンベンション協会、旭川情報産業事業協同組合、旭川工業高等専門学校、それから旭川ケーブルテレビ、北海道新聞、北海道警察等で構成される協議会だと聞いております。何とか早く立ち上げていただきたいと思っておりますけど、このICTパーク推進協議会を立ち上げるに当たって、現在、この関連の方たちとスムーズに連携がとれているのかどうか、ちょっと気になるところであります。それぞれの役割、あるいは今後の管理、運営についてはどのような内容が進められているのか、その辺のところを少しお聞きしたいと思っております。

○小山経済部次長 ICTパーク推進協議会の構成員として予定している関係機関、団体や企業につきましては、設立準備会の設立の際に、施設整備や機器設備の導入、eスポーツ大会等の運営やその支援、事業に対するスポンサー確保や観光宿泊客への宣伝活動への協力など、それぞれの役割をお示しした上で参画いただいているものであります。今後、ICTパーク推進協議会を設立するに当たりましては、ICTパークの基本的な考え方や運営方法等に基づき、さらに関係者等と連携を深めていく必要があると考えております。また、ICTパーク推進協議会につきましては、施設所有者とNTT東日本による施設整備の協議がまとまった後の立ち上げを予定しておりますが、先ほど御答弁しましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で施設整備におくれが生じている状況にありますので、これらの協議が済み次第、ICTパーク推進協議会を立ち上げることができるよう準備を進めてまいります。

○菅原委員 ただいまる聞いてまいりましたけど、コロナの影響で若干ストップした部分もあったのかな。ただ、おおむね良好に進行しているということでありまして、少し安心をしたところでもあります。そういった中でも早く準備会を立ち上げて、道内外はもとより世界でもやはり注目されるような旭川にしていきたい。この事業、本当に何度も申し上げますが期待をしておりますので、力を合わせて成功に導いていただきたいと、そんなふうに思いますので、よろしく願いいたします。

今、一つの流れとして質疑させてもらいました。いろんなことを探っていく、そして即効性のある計画といったものはどういうことなのか、そういったところをさらに考えながら施策を立てていただけて、そのことを早く正確に市民に伝えていく、それが私たちの仕事でないかと思っておりますので、よろしく願いを申し上げます、私の質疑を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○林委員長 その他御発言ございますか。

(「なし」の声あり)

○林委員長 ないようですので、本日の議題は以上となりますので散会いたします。

散会 午前10時39分